

激戦の鯖江市長選

田村氏無念の21150票差で涙のむ！

保守分裂！ 知事も巻き込み15名の県議軍団敗北
佐々木支援の鯖江応援団勝利

鯖江市長選投票結果	
当14,348票	佐々木勝久 (52)
12,198票	田村 康夫 (60)
7,712票	山岸 充 (30)

今回の市長選は県議対市議に若手も加わり、まるで「陣取り合戦」の如くシンボルカラーののぼりが市内の各所に競うように立ち並び、怪文書がまかれ、インターネットでも誹謗中傷が相次ぎ、市民の関心が高かっただけに票が割れ大きなしこりを残した。それだけに、初当選した佐々木氏は市民との対話を重視する考えを示した。

新型コロナウイルスによる地場産業への打撃は大きく、迫る北陸新幹線開業に向けた

まちの活性化など鯖江市は喫緊の課題が山積する中、佐々木新市長に新しいリーダーとしての手腕が求められる。

想定外の田村陣営

任期満了に伴う鯖江市長選は無所属新人で元市議の佐々木勝久氏が、いずれも無所属新人で元県議の田村康夫氏とまちづくり会社社長の山岸充氏を破り、初当選した。当日の有権者数は5万6003人。

久々の市長選だけに投票率は伸び、61・63%。佐々木氏は1万4348票を獲得し、次点の田村氏は2000票余りの差をつけられた。

1年以上前から準備を重ねていた田村陣営が、たった2カ月半の準備で選挙戦に突入した佐々木陣営に2150票も差をつけられ涙をのんだ。地盤・看板・カバンは申し分なく、県議に5回も当選し県会議長も経験。資金力も支援企業、主に建設業だが、他候補より群を抜いていた。